

事業概略書

事業名	統合失調症患者の入院早期からの多職種による地域移行支援の標準化に関する調査について
事業目的	過去の先行調査では、精神疾患患者の地域移行について効果をあげている精神科病院では、入院早期から多職種の体系的な関わりを実践していることが分かった。また、平成 23 年患者調査では、精神病床に入院する患者の半数以上は統合失調症であり、平均在院日数が 561.1 日と長期入院となりやすいため、精神病院における統合失調症の効果的な地域移行の在り方を検討する必要がある。また、入院のほとんどが再入院と考えられるため、再発の原因となる要因を検討する必要がある。そこで本事業では、統合失調症患者への入院早期からの多職種による地域移行の体系的な関わりの実態について調査し、今後、入院早期からの多職種による地域移行支援の一体標準化を検討することを目的とする。加えて再発の原因を調査し入院当初から地域連携を含めたクリティカルパス等媒体を通して早期退院と再発防止を考える。
事業概要	<p>事業概要は以下の通りである。</p> <p>①事業企画、進捗管理、報告書等の全体の取りまとめを行う検討委員会を設置し、調査結果に基づくクリティカルパス使用の現状と課題を分析した。</p> <p>②クリティカルパス現状の把握と今後の検討の基礎資料を得るために、日本精神科病院協会加盟病院（1,205 病院）への実態調査（アンケート調査）を実施した。</p> <p>③日本精神科病院協会で作成した日精協版クリティカルパス（案）を 10 病院にて実施した。また、実施病院の担当者よりクリティカルパス導入事例に関するヒアリングを行なった。</p> <p>④アンケート調査の結果を分析し、またヒアリングを参考にして、「統合失調症クリティカルパス原案」を作成し、日本精神科病院協会会員病院に配布した。</p>
事業実施結果及び効果	<p>事業実施結果は以下の通りである。</p> <p>①事業企画、進捗管理、報告書等の全体の取りまとめを行う検討委員会を 4 回、クリティカルパス導入事例に関するヒアリング意見交換会を 1 回、報告書作成のための打ち合わせを 2 回開催することが出来た。</p> <p>②日本精神科病院協会加盟病院（1,205 病院）への実態調査（アンケート調査）を実施し、クリティカルパス現状の把握と今後の検討の基礎資料を得る事が出来た。</p> <p>③日本精神科病院協会で作成した日精協版クリティカルパス（案）を 10 病院にて実施した。また、実施病院の担当者よりクリティカルパス導入事例に関するヒアリングを実施し、導入事例における問題点、日精協版クリティカルパス（案）の改善点を把握することが出来た。</p> <p>④アンケート調査の結果を分析し、またヒアリングを参考にして、「統合失調症クリティカルパス原案」を作成し、日本精神科病院協会会員病院に配布した。</p>

事業主体	郵便番号：108-8554 所在地：東京都港区芝浦 3-15-14 法人名：公益社団法人日本精神科病院協会 電話番号/E-MAIL：03-5232-3311/ office@nisseikyo.or.jp
------	---

(注)

- 1 本様式の作成にあたっては、厚生労働省ホームページに掲載するため、一般に公開することを想定し、分かりやすい表現に努めること。
- 2 本様式は、事業の概略をまとめるために作成するものであり、別途実施した事業についての成果物を必ず提出すること。
- 3 「事業目的」、「事業概要」、「事業実施結果及び効果」について、それぞれ250字程度で簡潔に記入すること。